
■■■■ ■ ■■■■ 利 用 教 育 委 員 会 通 信
■ ■ ■■■ 日 本 図 書 館 協 会 図 書 館 利 用 教 育 委 員 会
■■■ ■■■ ■■■ JLA The Committee of User Education

- ・「〈CUE〉利用教育委員会通信」は日本図書館協会図書館利用教育委員会
がニュースをお伝えするメールマガジンです。
- ・〈CUE〉は **Committee of User Education** の頭文字です。英語の「cue」
はスタートの合図の意。利用教育の普及への願いを込めた誌名です。
- ・本誌は等幅フォントでご覧ください。
- ・利用教育関連の情報をお寄せください。本誌へのご意見やご要望もお待ち
しています。 cue@jla.or.jp

□ 目次

- (1) 第 20 回図書館利用教育実践セミナー in 東京のご案内
- (2) 編集後記
- (3) 図書館利用教育委員会委員

(1) 第 20 回図書館利用教育実践セミナー in 東京のご案内

館種を超えた情報リテラシー教育の枠組みづくりに向けて
図書館で体系的に育む「生きる力」～実践からヒントをつかむ～

情報リテラシーは、単なる情報を探索する技術ではなく、幼児期から高齢期まで生涯にわたる「社会を生き抜く力」と位置づけられるものです。近年、図書館においても、高大接続、キャリア教育、職場体験などのように、館種を超えた実践がみられるようになってきました。そこで、本セミナーでは、情報リテラシー教育について、改めて理念を問いつつ、図書館界全体として何ができるのか、何をすべきなのかについて、注目すべき実践事例を通して考え、館種を超えた枠組みづくりに向けた意見交換の機会としたいと思います。

- ・日時：2016年3月13日（日）13:00～15:30
- ・主催：日本図書館協会（企画・運営：図書館利用教育委員会）
- ・会場：日本図書館協会 2階研修室（東京都中央区新川 1-11-14）

(アクセス：茅場町駅から徒歩 5 分，東京駅からバス 10 分または徒歩 20 分)

http://www.jla.or.jp/traffic_guide/tabid/75/Default.aspx

プログラム (敬称略)

1. 開会挨拶・趣旨説明
2. 「海外における情報リテラシーの枠組みをめぐる動向」(仮題)
野末俊比古 (青山学院大学教育人間科学部准教授)
3. 「館種を超えた情報リテラシー教育の可能性
大学図書館の実践から：お茶大の高大接続を中心に」
森いづみ (お茶の水女子大学附属図書館課長)
4. 「生涯学習を視野に入れた学校図書館活用における情報リテラシー教育
の展望」
富永香羊子 (市川市教育委員会学校教育部教育センター指導主事)
5. 「生徒の自立した豊かな生活への支援プラットフォームをつくる：
神奈川県立田奈高等学校図書館のとりくみ」
松田ユリ子 (神奈川県立田奈高等学校学校司書)
6. 全体討論・意見交換
7. 閉会挨拶・事務連絡

- ・参加費 (資料費)：500 円 (当日受付にてお支払いください)
- ・お申込み方法：氏名 (ふりがな) とご所属，JLA 個人会員かどうかを明記のうえ，電子メールにて下記までお申込みください。件名は「実践セミナー申込み」としてください。受け付け次第，返信をいたしますので，ご確認ください。
- ・お申込み・お問合せ先：図書館利用教育委員会 (cue@jla.or.jp)
- ・その他：内容は一部変更になることがあります。最新情報は随時，委員会ホームページ (<http://www.jla.or.jp/cue/>) にてご案内いたします。

(2) 編集後記

第 87 号をお届けします。今号では来月開催するセミナーのご案内を掲載しました。皆様のご参加を心からお待ちしております。 (春田)

(3) 図書館利用教育委員会委員

(委員長)

野末俊比古：青山学院大学教育人間科学部

(委員)

天野 由貴：相山女学園大学図書館

石川 敬史：十文字学園女子大学

春田 和男：東京家政大学人文学部

福田 博同：跡見学園女子大学文学部

(事務局)

久保木いつみ：日本図書館協会事務局

〈CUE〉利用教育委員会通信 第87号(25巻2号) 2016.2.24 発行

・バックナンバー：<http://www.jla.or.jp/cue/>

・配信登録・変更・解除・お問い合わせ：cue@jla.or.jp

※本誌は Gmail を使って発行していますが、日本図書館協会および当委員会、ならびに本誌の内容と Google とは関係がありません。
